

的に取り組んでいく事項を整理した「仕事と生活の調和の実現に向け当面取り組むべき事項」を取りまとめた(第1-3-10図参照)

2 | 国の取組

(1) 国民の取組気運の醸成

ア 仕事と生活の調和推進ポータルサイトの開設

仕事と生活の調和の推進に係る様々な情報を網羅的に提供し、企業、関係団体をはじめ、広く国民一般の取組を推進するために、2008（平成20）年2月、内閣府のホームページ上に「仕事と生活の調和推進ポータルサイト」を開設した（<http://www8.cao.go.jp/>

wlb/index.html）

サイト上では、憲章や指針の紹介をはじめ、トップ会議や仕事と生活の調和連携推進・評価部会などの動き、先進的な企業や自治体、諸外国等の取組事例、各種調査研究、シンポジウム・イベント等の啓発事業の周知・募集などの情報を紹介している。

イ 仕事と生活の調和推進のための国民運動「カエル! ジャパン」キャンペーン

2008年6月には、「カエル! ジャパン」をキーワードに、国民参加型のキャンペーンを開始し、「ひとつ、働き方を変えてみよう」とのキャッチフレーズの下、親しみやすいカエルをキャラクターとして設定し、ポータルサイトの拡充や周知ポスター・チラシの作成・配布等を通じて、各界・各層の国民に「働き

COLUMN コラム

「カエル! ジャパン」 キャッチフレーズとキャラクター

1 キャッチフレーズ:『ひとつ「働き方」を変えてみよう!』について

「ひとつ」という言葉は、試みに「まずは～してみよう」、「ちょっと～してみよう」という意味と、数字としての「1つ」として、「できることをまず1つ」という意味を持っています。このキャッチフレーズは、国民の皆様が受けとめやすい、「呼びかけの言葉」とあると同時に、受け取り手の「呼びかけに応える気持ち」や、「変えてみようと思う本人の内なる声」を表現しています。

2 キャラクター:「カエル」について 【変える=かえる!】

現状を「変える」というちょっと勇気がいることを、「カエル!」と称して、誰もが知っているカエルのキャラクターに託し、「愛嬌」

をもって呼びかけていきます。言葉の洒落は、難題にもユーモアを持って明るく、くじけず臨もうという思いであり、ホップ・ステップ・ジャンプと跳躍するその力にもあやかります。



シンボルマーク
(キャッチフレーズとキャラクターの組み合わせ)